



CONTENTS

- 一般質問（9人）
- 各常任委員会行政視察研修報告
- 各常任委員会Q&A
- 条例改正／議員発議／意見書
- 編集後記

令和5年 コウノトリ江北町に飛来

幸せを運ぶ鳥 コウノトリが土元地区に飛来していました。

湿地帯に生息し、天敵はほとんどおらず、湿地生態系の食物連鎖の頂点に立つ鳥です。

子どもたちにできる最大限の支援を

こども教育課長 教育支援員の配置は確保していきたい



江頭義彦
議員

議員 小・中学校で個別の支援を必要としている子どもたちにどのような支援がされているのか。

こども教育課長 障がいの種類、程度に応じた対応をしている。知的障がい支援学級では、生活に結びついた具体的な活動を学習活動の中心に据えて指導をしている。個に応じた生活に役立つ内容、基本的な生活習慣の確立、日常生活に必要な言葉や数量、生活技能等を指導している。中学校では、社会生活や職業生活に必要な知識や技能の指導もしている。自閉症・情緒障がい支援学級では、個別指導や小集団による指導の場を適切に設けている。また、刺激の少ない教室環境を整えたり、教材、教具を工夫して、特性に応じた指導を行っている。

議員 小・中学校で学習、生活を支援する教育支援員の数は。

こども教育課長 町の教育支援員は、小学校9名、中学校4名。特に困り感を持つ児童・生徒に配慮して配置しているが、今後も

児童・生徒、一人一人の状態にあわせて配置を行っていきたいと考えている。近隣の小・中学校と比較しても教育支援員の配置については、現在特に少ない状況ではない。

歩道の設置に係る安全対策について

基盤整備課長 区画線の引き直しをしている

議員 東分歩道橋下交差点における歩行者、自転車への安全対策をお願いしたいが。

基盤整備課長 この交差点は207号から佐賀へ向かう車の混雑の解消と周辺地区へ通り抜けをする車を防止するため改良が行われ、右折レーンが2車線ある特殊な交差点。改良により渋滞は緩和しているが、自転車は、歩道橋ではなく横断帯を通行しており危険性は



東分交差点、歩道橋下の渋滞状況

認識している。改良から5年経過し、安全対策の必要性は感じておりしっかりと検討したい。

議員 東分交差点に国道207号線から入ってくる車を「Aカン」トリ前を通る町道へ誘導し交通量を減らしては。そのために新渡大橋～馬場北線の町道に歩道設置をお願いしたいが。

基盤整備課長 町内の主要路線の歩道を含む安全対策は、優先順位をつけて計画的に実施している。本町における歩道の設置の基準は、車の交通量が多く、スピードが出る危険な通学路という事で取り決めをしている。質問の路線で通学路に指定されている区間は、既に歩道整備をしている。現在、通学路に指定されていない残りの区間については、歩道整備の計画はない。

議員 国道207号改良促進同盟期成会で行っている本町からの要望内容は。

町長 平成28年に渋滞解消対策として、東分交差点の右折レーンの2車線化を要望し、平成30年に要望した改良が実現した。現在は、八町地区の207号沿線の歩道整備について要望をしている。今回の一般質問での議論も踏まえ、東分交差点付近の歩道整備についても要望していく必要があると思っている。



歩道がない、新渡大橋～馬場北線

三苦紀美子

議員



確認されている空家の対応状況は

基盤整備課長 申請書の確認は職員が必ず行う
未処理物件は0件

議員 6月議会で令和

4年3月の条例改正後、

特定空家認定方法が変

わったと回答。改正条例

における認定方法と、当

初条例の認定方法に違

いはあるか。当初条例等

における最終判断は町

長が行い、現地調査は目

視で行い判断されてき

たと認識している。改正

前は目視により判断さ

れていたが、9月議会

において、改正後は国の

ガイドライン、県策定マ

ニュアルに準じた判断

基準で作成直しと回答。

認定判定基準が制定さ

れ、より厳しくなったと

感じているが、条例改正

前、後の違いの説明を。

基盤整備課長 これま

では条例に基づき調査、

認定をしていたが、改正

後は法律に基づき立ち

入り調査を行い、空家対

策協議会で状況を協議、

判断となっている。

議員 改正時の令和4

年3月以前の未処理物

件の総数及び内訳を。

9月議会で特定空家

14件と回答。この件数

には、改正前の管理不

全な状態の物件も含ま

れ、現在、全て処理済み

で今後は新たな情報提

供物件に対応するとの

認識でいいの。

基盤整備課長 今は、申

請が出ているのに処理

を行わず手をつけてい

ない状況はない。

未処理物件は、0件。

議員 6月議会で質

問のあった空家は、条

例改正前、改正後、いつ

の時点で情報提供が

あった物件なのか。

基盤整備課長 条例改

正前に申請は出ていた

が、コロナの影響で判定

委員会を開けず、条例改

正後に協議会に諮り判

断をしている。

条例改正をまたいで

協議をした件数は3件。

1件は条例改正後特定

空家と判断。2件は、判

断されていない。

我が町子どもたちをみんなで育てたい

教育長 機会あるごとに校長と話を進め、

全校的な活動ができる働きかけをしていく

議員 昨年教育長より

小・中両校長共挨拶の

重要性は認識している

との回答をえた。徐々

にはあるが挨拶が返

てくるようになったと

感じるが、友達と話

ながらの中学生からは

返ってこない。小学生

も最初は挨拶ができな

かったが、今ではとも

元気に挨拶してくれる

ようになった。交通安全

母の会として運動を毎

日続けているが、小中

校の取り組みは。

教育長 小・中学校共

に平日は校長が挨拶運

動を実施。中学校は、火

曜、木曜日に生徒会が

主体となり各クラス全

員で実施。小学校はP

TAの各委員会が毎月

交代で実施している。

機会あること

に校長と話を

進め、全校的

な活動ができ

る働きかけを

していく。

町長 地域ぐ

るみて挨拶運

動をという事

であれば、教育

委員会だけで

なく、町長部局

各課でもしっ

かり応援して

いきたい。

子ども110番の家

こども教育課長

ステッカー、旗は理

解を頂いた家に掲示

をお願いしている

議員 防犯協会に子

ども達のためにも少



設置されている旗・ステッカー

大きい旗の作成を相談

するのは無理か。

こども教育課長 今年

3月に119カ所に旗

とステッカーを作成し

ていただいた。これを有

効活用していきたい。

再度、目立つ場所に掲

示をするようお願いす

る文書を送付する。

ステッカー、旗は理

解を頂いた家に掲示を

お願いしている。

岩見屋の池園 町の重要文化財としての指定を求める

こども教育課長 県の登録文化財指定を申請された



土淵茂勝
議員

【議員】 江北町の新たな文化財指定と支援、発掘物の保存・展示を求める。

江戸時代初期に造られた岩見屋の池園は400年近い歴史を持っている。町の文化財としての指定、管理費等の支援が必要ではないか。

【こども教育課長】 確かに町文化財の指定をとっている話はあるが、所有者の方がか、佐賀県の登録文化財の指定を申請されており、町の申請については、見送られたと理解している。



岩見屋の池園

【議員】 町内には「くど造り」の茅葺の民家が



保存すべきくど造りの家

数軒残っている。県特有の歴史的民家で、現在もその家で生活し、家を維持されている。まず町の文化財として位置づけ、屋根のふき替え費用等支援の検討を求める。

【こども教育課長】 私有財産であることから、維持管理費の補助は、難しいと考える。また、所有者の方が町の指定文化財の申請をされているかどうか、現状を確認したい。

【議員】 町で貴重な「くど造り」の家を文化財と位置付けることが大事だと考える。

また、関川家住宅に對する財政支援はないのか。

【こども教育課長】 関川家住宅は、「22世紀に残す佐賀県遺産」に登録されており、県の補助事業で修繕費等に對する補助金が交付されている。

【議員】 町には旧石器時代、さらに戦国、江戸時代にかけての遺跡が存在する。

その調査の概要と出土遺物の管理保存はどうなっているか。

【こども教育課長】 遺跡調査は、平成2年から9年にかけて実施した。出土遺物については現在、老人福祉センター裏の体育倉庫に保管している。

大学等で研究のために保存されるような出土遺物は、現在まで発掘されていない。

基幹産業として農業の位置づけを求める

地域振興課長 統計情報等をホームページに掲載する

【議員】 農業は、町の基幹産業、また有機の里として取り組まれてきている。そこで、次の提起をしたい。

- ①年間の生産物や農業人口などの統計をホームページに掲載する。
- ②減農薬、有機栽培に力を入れること、さらに学校給食に有機米、野菜を取り入れる。

【地域振興課長】 町の農業をPRする上でも有効なためホームページに掲載するよう考えていきたい。環境保全型農業研究会の取組みを支えることで有機肥料の活用、減農薬の取り組みを推進していきたい。学校給食については、町では有機農産物

を栽培しておらず町外から食材を調達しなければならぬ。町内の特別栽培で可能であれば事業者につなぎたい。

「義務教育学校」小学校グラウンドの利用が必要ではないか。

【学校づくり推進室長】 内部で検討している

【議員】 中学校敷地に校舎を建設すると、校庭や小学校の体育館、プールなどの敷地が狭くなるが、できなくなる可能性がある。その場合、小学校のグラウンドを利用する必要があるのでは。その検討はしているのか。

【学校づくり推進室長】 中学校の運動場面積が狭くなることから、小学校を使用することも内部では検討している。

池田和幸
いけだかずゆき

議員



これからの財政政策と事業計画は

町長 新たな日常ベースの財政規模、日常ベースの事業を早くつくり出すことが大事だと思う

議員 令和4年度から5年度の一般会計は、町制施行70周年の各種事業等が実施され、予算規模も増大した。

町長 行った町政運営で、町の財政にどのような影響があったのか。

総務政策課長代理 ふるさと納税寄附が大幅に増加した。寄附額の累計は、平成28年度から令和5年11月までの8年間で約46億円。寄附を財源とした主な事業は、学校給食費助成や健康ポイント事業等で、就任後7年間で約10億1千6百万円を、ふるさと応援基金へ積み立てている。

議員 新型コロナウイルス感染症対策事業の交付金について。今後の見通しは。

総務政策課長代理 本年度は、その使途が低所得者支援や価格高騰支援に限られている。

来年度以降については、価格高騰等に対する支援が継続されるの見込んでいる。

議員 ウイズコロナに向けた政策は。

総務政策課長代理 コロナ禍で事業の実施方法を見直した町民スポーツ大会、こびきスポーツ大会、老人福祉大会、成人式など、見直し後の在り方が新しい標準となっていくと考えている。

議員 過疎債の償還額が上昇する中、今後どのようなことに注意を払って財政運営をしていくのか。

町長 過疎頼みではない新たな日常ベースの財政規模、日常ベースの事業を早くつくり出すことが大事だと思う。

議員 町民体育大会の開催方法を見直す考えは。



新しい内容で実施された町民スポーツ大会（令和4年10月）

町長 コロナを契機に見直した新しい大会内容をベースに、更に充実した町民スポーツ大会にしていきたい。

議員 町主催で文化芸

能を取り入れた発表会等を行う考えは。

町長 町が主催するか

地域おこし協力隊の導入は

町長 地域おこし協力隊の制度を利用し、町として募集をするような状況にない

議員 地域おこし協力隊は、過疎や高齢化の進行が著しい地方で、地域外の人材を受け入れ、定住・定着と、地域力の維持、強化を図ることを目的とした制度。

町長 町が以前採用した時と現在の制度に違いはあるか。

総務政策課長代理 大きな違いはない。隊員の募集等に要する経費が200万円から300万円へ、隊員の活動経費が400万円から480万円に上限額がアップしている。

議員 町のために地域おこしをしたいという方が現れたらどうか。

は別として、披露の場を設けるべきかどうかは検討に値する。

町長 町外から地域おこしをやりたいという方が来て頂ければ大変ありがたい。何かサポートができればと思う。

ただ、現在、制度を利用し、町として募集をするような状況にはないと考えている。

議員 協力隊としてだけでなく、町のために応援していただく方への対応は。

町長 町にいてはわからないような情報やノウハウを持っていて、ふるさとで何か活動をしたいという方は、大変ありがたい。情報共有もできると思うので、ぜひ歓迎したい。

再度問う 江北町総合排水計画と町の取り組み

町長 緊急自然災害防止対策事業債期限の令和7年までに
早急に取り組みたい



西原好文
議員

議員 排水対策連絡会が、11月6日～11月20日にかけて開催された前回開催された時に出席された協議事項が今回どのように協議されたのか。

総務政策課長代理 協議事項は、以下の4点。
①事務局からの事前落水要請のタイミングについて②連絡体制について③各ゲート管理者の事前落水の可否について④事前落水の効果と課題について。

議員 白石町の取り組みを紹介すると、令和7年までにポンプを6基増設予定。町内の900ヶ所の内116箇所のゲートを電動化、水路の浚渫等を県の事業や緊急自然災害防止対策事業債等の財源を活用し実施予定。起債の期限が令和7年までと聞く、我が町も早急に取り組む必要があるのでは。

町長 この数年間の白石町の取り組みを見て感心をした。ぜひ白石町に勉強に行きたい。財源の期限が令和7年までなので早急に取り組んでいきたい。

議員 電動ゲートの費用については30万円から50万円と聞く。町でも、事業を活用し、色々な取り組みが可能。基盤整備課、地域振興課が協力し、取り組んでほしいが。

町長 早急に取り組む、また早急に取り組ませます。



電動ゲート（白石町）

畑川水系、水の利活用と農業振興

町長 事業実施には色々な要件があり、担当課で引き続き研究させていただきたい

議員 畑川溜池、上畑川溜池流域の抱える色々な問題についてだが、大西地区の農地については鉱害復旧後50年が経過している。施設の老朽化はもとより掛け水による取水で耕作者は大変な苦勞をされているのが現状である。観音下地区を含めると掛け水での取水面積は10ha程である。今後このような苦勞を減らす掛け水での農業の担い手は減る一方だと思う。ポンプ等の設置ができないか。

地域振興課長 観音下、大西地区には、12haの掛け水による農地がある。50年程前は、在宅で営農されている方も多く、板堰による水管理でも問題がなく、ま



掛け水取水口

た水利の費用負担が少ない等の理由でポンプを設置せず、掛け水での取水を選択されていた。ポンプを設置するには、まず地元地権者と設置の合意形成が必要だと考えている。また、ポンプを整備するために活用できる国の事業メニューを紹介しながら、事業が実現できるよう可能性を探っていきたい。

議員 掛け水による耕作者は毎年大変な思いをされている。今後担い手がなくなれば耕作放棄地が多く出てくると思う。そこで、農業競争力強化基盤整備事業の内、「農地中間管理機構関連農地整備事業」を活用してみてはどうか。

町長 提案いただいた事業は、県が事業主体であり、事業実施に際しては色々な要件がある。引き続き担当課で研究をさせていただきたい。



掛け水で管理する農地

田中宏之
たなかひろゆき

議員



我が町の鳥獣被害対策について

町長 県の力モ対策実証事業を町も是非一緒にやらせていただき、町の取り組みにも取り入れていきたい

議員 令和5年産麦に
対する力モの被害は有
明海のノリの不作も影
響し、麦畑が格好の餌
場となり例年よりもひ
どい状況だったが、町
は把握しているのか。

地域振興課長 過去3
年間の有害鳥獣被害全
体のうち力モによる農
作物被害は、7.4%であ
る。ただ、麦につい
ては、収穫時に被害圃
場と被害のなかった圃
場を一緒に乾燥調製し、
収穫量が相殺されるた
め実被害はもっと大き
いと思われる。

議員 令和5年度に町
が実施した対策は。
地域振興課長 ロケッ
ト花火の配布を行った。
議員 令和6年産麦に
対する力モ対策は。

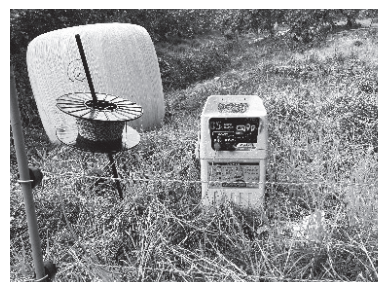
地域振興課長 テグス
や支柱等の物品を支給
する。また県が八町地
区で力モ追い払いの実
証実験を行う予定。

議員 力モ対策に県も

乗り出してきてくれ
たのは良かったと思う。
町長は以前の議会で力
モ対策に有効な対策を
打ち出して行きたいと
答弁したがその後どう
対策を打ち出したのか。
町長 力モによる被害
は思っていた以上に深
刻だと感じた。昨年
実施した花火を使った
追い払いが契機となり、
今年は県の力モ対策実
証実験が行われる。実
証実験と一緒にやらせ
ていただき、町の取
組みにも取り入れてい
きたい。



力モ対策



効果のある電気柵

議員 中山間地域は、
果樹園芸の産地として、
古くから温州ミカンの
栽培が盛んである。か
つてのオレンジ輸入自
由化の危機も乗り越え、
栽培農家戸数は減少
したが、これまで継続
的に経営を続けられて
いる。最近、特にイノ
シシの被害に遭われ悩
まれている。今村温州
ミカンは、収穫時期が
通常より1ヶ月程遅い
ため被害に遭う危険性
もより高いことから対策
に大変苦慮されている。
町はこの現状をどうと
らえているか。

地域振興課長 過去3
年間のイノシシによる

被害は全体の78・7%
で甚大と思う。杵島地
区有害鳥獣広域駆除対
策協議会からワイヤー
メッシュ柵・電気柵
の購入補助や捕獲等に
より対策に努めている。
3年間で654頭、年
間200頭以上捕獲さ
れている。

議員 捕獲後のイノシ
シの処分にも手を焼い
ていると聞いた。埋却
処理するための場所を
町で用意できないのか。
また、電気柵は効果が
あるので支援の拡充は
できないか。

町長 町で埋却場所を
用意するのは難しい。
忌避施設となるので場
所の選定が問題となる。
今回は提案として受け
止めたい。



混入したワッシャー

小学校における
給食の異物混入
について

こども教育課長
点検項目を増やし
再発防止に努める

議員 11月に小学校で
起きた給食の異物混入
の内容は。また、その
後の対応は。機器の保
守点検を徹底し、今後
2度と起こらないよう
にしたい。

こども教育課長 洗米
機のネジが劣化して折
れ、ワッシャーが炊飯
窯に混じりこんでし
まった。対応としては
劣化したネジを全て外
し溶接した。

乳がん検診を40代から20代へ引き下げを求める



酒井 明子

議員

町長 他の市町並みにしかやらないというつもりはない、医学的知見も含めて、是非内部で検討させて頂きたい

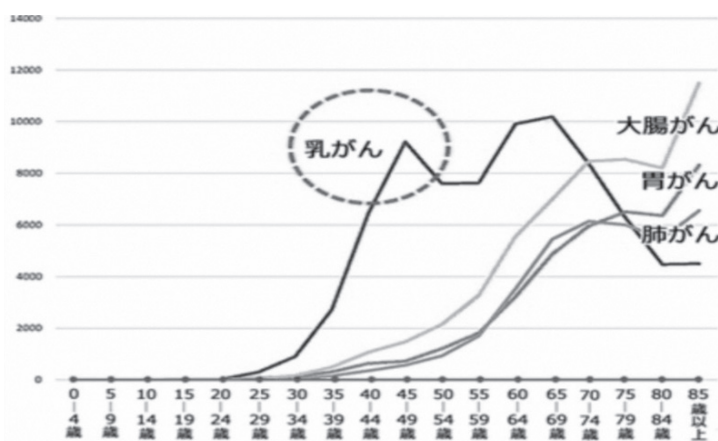
議員 江北町に移住し母親として、又、将来母親となる方々の困りごとへの質問をする。

予防医学への医療費の使われる割合が低い中、若い方の乳がんの罹患率が他の癌は横ばいの中、右肩上がりに県内の乳がんの死亡順位、検診対応状況は。

健康福祉課長 2019年の統計で死亡順位5位。本町も含め19の市町が40代からの検診でマンモグラフィと問診を実施。1町で20代からの検診で年代に応じマンモ、エコー検査、問診等を実施。

議員 2021年の統計は、女性の乳がんの死亡順位4位。罹患順位は1位。子宮頸がんの検診が20歳以上ならば乳がんも20歳以上へ引き下げが妥当と考えるが。

町長 これからは、教育とか環境とか健康と



出典：国立がん研究センター情報サービス

れるようにしたい。町長 他市の市町並みにしかやらないというつもりはない。医学的知見も含めて、是非内部で検討させて頂きたい。

産前産後支援は

町長 町の医療機関との連携を考える

議員 町には65歳以上に対する支援「へそのまちお助けサポーター（へそサポ）」があるが、産前、産後の支援は対象ではない。へそサポの支援内容は。

健康福祉課長 令和2年より高齢者を地域で支える住民主体の取り組みとして、買い物等専門性、緊急性のない支援を実施している。

議員 産後ケア施設を設け、町からの働きかけを求めたいが。

健康福祉課長 県内で、民間事業所や取り組みを開始した自治体もある。医療専門職の人材確保や受け入れ施設、財政負担もあり、町単独での実施は難しい状況。

町長 へそサポが近所のじいちゃん、ばあちゃん的存在となるよう内部で議論、検討してみたいのではと思う。

又、産科等医療機関や助産院が産後ケア事業を実施されている。町内にも産科があるので医療機関と連携した産後ケアもあると思っている。

就学前健康診断について

こども教育課長 早期発見・早期療養が非常に重要

議員 就学前健康診断に専門医または専門職の常駐を望むが。

こども教育課長 子どもの発達相談には、健診時に気になるお子さんは、子育て発達相談会等を紹介し、公認心理士、言語聴覚士が相談にに応じている。幼稚園・保育園でも、特別支援コーディネーターとの面談の機会を設ける等の対応をしている。悩みを持つ保護者に相談窓口の周知をし、早期発見、早期療養につなげていくことが重要だと考えている。

古賀里美

議員



子育て支援策は未来の江北町を担う子どもたちへの投資!

町長 住民との子育て見守り体制の構築が町のテーマ



子育て支援の充実を

議員 人口が増加している自治体は、「子育て世代にやさしいまち」「子育てしやすいまち」と標榜し各種子育て支援を実施している。

乳児（一歳の誕生日まで）を養育する世帯に紙おむつ等の無料化の検討と、見守り事業の実施の考えは。

健康福祉課長 妊娠届出時から出産、子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型の相談支援を実施している。

経済的負担を軽減するため、妊娠期に出産応援金5万円、出産後に子育て応援金5万円を一括してお支払いしている。

議員 経済的支援はもちろんだが産後のケアがとても大事。毎月一回、ママたちの精神的サポートも兼ね、子育ての悩みや情報の提供など地域での見守りも大事。子育て経験のある先輩配達員等が届け「0歳児見守り事業」として紙おむつ（引換券など）の配布事業の実現を望む。

町長 経済的な支援だけでなく、精神的なサポートや見守り体制の構築が町のテーマ。ぜひこれはやらねばならないと思う。

議員 実家が町内になく、保育所にも通っていない乳児を買物・病院・理美容院・テレワークなど、ちょっとした時間に保育士が預かるファミリーハウスなど町内にはあるのか。

こども教育課長 町内で一ヶ所。江北ひかり保育園で生後6ヶ月から小学校就学前までを対象とした一時預かり事業を実施している。一日当たり6人までの完全予約制となっている。

鳴江河畔公園の利活用について

町長 公園の特性に合った利活用を考えたい

議員 杵島炭鉱が閉山して以降、町は深刻な過疎化に見舞われ、鉱害復旧により物心両面で町民に負担がかかったと聞いている。町と町民に潤いを提供する目的でオープンした施設が鳴江河畔公園だがこれからの利活用は。

議員 公園にドッグラン施設を検討をお願いしたい。今やペットは家族の一員。町内登録頭数は、516頭。12月2・3日の2日間。鳴江河畔公園の西側においてワンちゃんのイベントが開催された。県

町長 鳴江河畔公園の利活用

はこれから町のテーマである」と認識している。新しく作るより利活用する。桜山公園と鳴江河畔公園、それぞれの特性がある。それに合った利活用ということ



有効活用が欲しい鳴江河畔公園



大盛況だったイベント

内外から2日間で多くの人々が来場し、まち望まれていたイベントだった。時代にあった施設を公園の自然を保護しながら、地域資源として価値観を活用・向上させる好環境を生み出す政策に転換していくことが重要だと感じるが。

町長 公園の利活用は、町民のニーズも含めて議論をしながら進めていく必要がある。



待ってるよ！ドッグラン

ハイブリットラジコン草刈機のレンタルについて



田村 康 議員

町長 利用のあり方まで構想しなければならない
それ以外の方法も併せてやっていく必要がある



ハイブリットラジコン草刈機

議員 ため池管理のため必要不可欠な草刈り作業は、作業者の高齢化、堤が急傾斜のため転倒によるけがの危険性が高い等色々な課題がある。上小田地区区長から草刈の作業負担軽減のためとして要望が出ているハイブリットラジコン草刈機を町で導入し、地区にレンタルを行っていただきたいが。町の考えは。

議員 町内の山間、山麓部周辺の住宅地はアライグマ、イノシシ、マムシ等の有害鳥獣の被害に悩まされている。上小田地区でもアライグマが空き家に住着ぎ、住宅地内では、十数匹のマムシが発見されている。地域住民のボランティアで少しでも良好な環境にすべく努力しているが、町の対応は。また人的被害に對

町長 自助、共助、公助をうまく組み合わせる三位一体で対応していく

アライグマ、イノシシ、マムシの対策は

地域振興課長 様々な溜池の活用が見込まれる中、今後、中山間地域が益々活性化していくためには、溜池の法面の美観を維持する事も大切な要素であると考えている。

草刈機導入は十分にあり得ると思うが、導入後の利用の在り方までしっかり構想しなければと思う。草場溜池で実施しているセンチピートグラスの定植等、それ以外の方法も併せてやっていく必要があると思う。

議員 町内の山間、山麓部周辺の住宅地はアライグマ、イノシシ、マムシ等の有害鳥獣の被害に悩まされている。上小田地区でもアライグマが空き家に住着ぎ、住宅地内では、十数匹のマムシが発見されている。地域住民のボランティアで少しでも良好な環境にすべく努力しているが、町の対応は。また人的被害に對する補償はあるのか。

総務政策課長代理 マムシは法律により、みだりに殺処分できるものではなく、人的補償もない。対策は草刈による自宅周辺の環境整備、町が行っている空き家対策等で動物が住みつかないようにする事で被害を軽減できると思う。今後も関係課と連携しながら取り組んでいきたい。

町民の要望

町長 真摯に受け止めていただくと

議員 三役室を1階に

地域振興課長 イノシシは猟友会に委託し駆除を行っている。家屋周辺にアライグマが出没した場合、小型の箱罠を貸出す方法で駆除を行っている。

基盤整備課長 空き家にアライグマが住み着くような事例は、所有者、管理者に連絡をし、改善をお願いしている。今後も情報提供に対し、早急に対応をしていく。

町長 農業被害を及ぼすような動物は、杵島地区有害鳥獣広域駆除対策協議会で対策を行っている。住民生活に影響を及ぼしている動物には、自助、共助、公助をうまく組み合わせる三位一体で対応していく必要がある。

設置していただきたい。町民から見れば、現状の三役、課長室は町民との間に距離があり過ぎる。課長を各課へ戻していただきたい。課長は町民の声をじかに聞き、事務をスピード感を持って処理し、部下の指導教育を徹底していただきたい。事務処理が停滞しているのでは。職員数不足が原因であれば、増員する事も考えてほしいが。

町長 町民の声として真摯に受け止める必要があると思う。8月末に課長室を廃止する予定だったが、課長達で協議し、情報共有等のために存続することとなった。町長室を1階に設置する効果はないと考えているが、ご意見をいただいたので、もう一度、副町長、教育長、課長の意見を聞いてみたいと思う。



校舎とアリーナを一体としたアトリウム

◇義務教育学校・大分市立碩田学園
同校は、平成29年4月に市内中心部にある荷揚町、中島、住吉の3つの小学校と碩田中学校が統合した、大分県内初の施設一体型義務教育学校。6階建ての校舎は、津波避難ビルとしての構造上の技術基準を満たしており、地域の防災拠点として重要な役割も担う施設となっている。

9年間一貫した統一性のある学習・生活指導や中期での一部教科担任制、英語教育の充実によるコミュニケーション能力の育成などにより、調和のとれた教育を目指している。

令和5年4月現在、生徒数932人、学級数38クラスで、小中一貫教育による異学年の交流の利点と、生徒の明るさを感じ取れる学園だった。

◇義務教育学校・国東市立志成学園
同校は、武蔵西小学校、武蔵東小学校、武蔵中学校の閉校に伴い、令和2年4月1日に開校した。

小中を合わせた9年制の義務教育学校で、少子化や過疎化で旧武蔵町の児童生徒数の減少と、中学進学で生活環境に支障を来す「中1ギャップ」の解消を目的に開校した。



オープンスペースの教室

学校の教育理念は、郷土国東に愛着と誇りをもち、グローバルな視点に立ち、夢や希望を抱き、その現実のために努力を惜しまない子どもの育成と定めてある。

生徒数は281人、学級数16クラスで、乗り入れ授業等で、学力の向上、職員の意識の向上につながっているとの事だった。

また、旧中学校校舎と併合して運営されているところは、町の今後の計画と同じで参考になるのでは思った。

産業厚生常任委員会
行政視察研修報告
11月7日～8日

◇宮崎県綾町の有機栽培

学校給食の食材を完全有機栽培のものにしていく取り組みを進め、併せて学校給食の無料化も進めている。

「自然生態系農業の町」として自然に負荷をかけない農業に取り組んでおり、その条例も制定されていて、消費者に信頼され、愛される綾町農業を確立し、農業の安定的発展を期するとされている。



有機栽培がある直売所

◇宮崎県新富町のAIロボットを活用したハウス栽培

「株アグリスト」は、

農業関係のロボットを開発している会社で、ピーマン収穫ロボットは、実用化の最終段階、キュウリ収穫ロボットは実用化を実現されていた。

AIロボットの価格はレンタルで1月当たり20万円程。

町でも、県が園芸生産を推進する取り組みの影響でキュウリ栽培をされる方が増えている。園芸には、多くの労力が必要とされる。ハウスの中は暑く、多湿で農家に



AIロボットによるピーマン収穫

とって決して良い環境ではない。今後は、ますます高齢化も進む、農業は人手不足になることが見込まれるためこういったAIロボット等の技術を活用した農業経営が必要になる。

国、県とも連携しながら、町としてもこうした分野に力を入れて頂きたい。



AIロボット農場

総務常任委員会

問 今回の人事院勧告の内容は。

総務政策課長代理 人材確保の観点から初任給増額をはじめ、若年層に重点をおいた改定内容となっている。

問 人事評価制度はあるか。

総務政策課長代理 個人で目標を設定し、自己評価をした後、一次評価で各課長が面談等を行う、二次評価は副町長が行い、最終評価が決定する。

問 マイナンバーカードと各種個人情報との紐づけの誤りが報道されているが、町は大丈夫か。また、スマホ用電子証明書に対応する機種は。

町民生活課長 新聞報道であった障がい者手帳などとの紐づけの不備事例はない。スマホ用電子証明書

の利用は、アンドロイドのみ利用可能。現在、 아이폰は利用できない。今後変更あれば、住民の皆さんへ随時お知らせする。

問 佐賀西部フリーセンターで火災が頻発していると聞くと、状況の説明を。

町民生活課主幹 10月に火災が発生している。原因は、恐らく分別されていなかったリチウムイオン電池。火災の原因とならないよう分別の徹底を再度広報にて住民の皆さんにお願いする。

問 スポーツ・文化育成費補助金をスポーツ等で活躍している子ども達にもっと交付して欲しいが。

教育長 約束事、取り決めがあるが、いただいた意見は、しっかりと課で打ち合わせしていきたい。

証明書自動交付機



問 病児保育事業の事業内容は。

こども教育課長代理 町内で病児保育事業を実施しているのは、スマイルルーム（古賀小児科）、永林寺保育園では、園児を対象とした体調不良児対応型の事業を実施している。

育園では、園児を対象とした体調不良児対応型の事業を実施している。

総務常任委員会視察の実施

保育所型認定こども園「永林寺保育園」と幼保連携型認定こども園「ひとのねこども園」の2カ所を視察。どちらも木のぬくもり一杯の園舎。子どもも大人も保育者も幸せを感じられ、子どもたちの育ちに豊かな環境を整えられていた。

0〜2歳児クラスで「育児担当制」を取り入れ、子どもの年齢や発達により異なる日課を月ごとに組み立て、丁寧な取り組みをされていた。不安な事として、保育士が体調不良等で休んだ際の人員確保が難しいこと、保育



ひとのねこども園

土配置基準の改善、障がい児に対する保育士の取り組み等をあげられていた。

保育士配置基準の改善は、町議会でも問題とし、配置基準、処遇

改善を求め、意見書を今議会で可決した。ひとのねこども園は、地域の自然や風土に根ざし、地域の中で親しまれる場所を目指されていた。年の違う児童が一緒に生活することがいい結果につながっており、町が今後計画している義務教育学校にも通ずる、子ども主体の保育を実現されていた。

条例改正

一、江北町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

一、江北町印鑑条例及び江北町手数料徴収条例の一部を改正する条例

一、江北町国民健康保険条例の一部を改正する条例

一、江北町下水道事業の設置等に関する条例

一、江北町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例（全員賛成で採択）

（全員賛成で採択）

議員発議

江北町議会議員の請負の状況の公表に関する条例（全員賛成で採択）

（全員賛成で採択）

産業厚生常任委員会

問 町内にある「放課後等デイサービス事業所」の名称、場所は、健康福祉課長 レッゴ

ー(宿)、バリエンタ(東分)、しーど(上分)の3施設。

問 電気・ガス・食品等価格高騰重点支援給付金の支給方法は、福祉係長 対象者は、

令和5年6月1日時点で住民票が町内にある非課税世帯。住民票の住所へ文書を送付し、送金を確認するプッシュ型により対応する。

問 放課後等デイサービスの利用が年々増加しているが、要因は、福祉係長 障害者手帳を所持していなくても

サービスを受けられること、また、近年自閉スペクトラム症(ASD)、注意欠如・多動症(ADHD)の診断を受ける子どもが比較的多い

ことが要因。

問 コロナワクチン接種は、令和6年度以降一部が個人負担予定。町の負担は減ると考えてよいのか。

保健係長 現在国からは、令和6年度からインフルエンザと同等の扱いとし、接種費用が自己負担となる方針が示されているが、自己負担額等が提示されておらず今後の町の負担がどうなるかは不明。

問 現在の「国民健康保険事業調整基金」残高は、また、今後の基金運用はどうなるのか。

国保係長 基金残高は、12月補正予算後、約1億7,400万円になる見込。

健康福祉課長 令和5年度は、保険税の負担を軽減したため基金を取り崩す予定。来年度以降は、医療費が年々上昇していること等を鑑みると、積立額より

取崩し額が大きくなると予測している。

問 農業者からカモ食害防止対策のために支給する物品の要望を聞いているのか。

地域振興課長 年内に農業者からの要望調査を取りまとめ、年明けには物品を支給できるように手を打っている。



カモ対策でテグス設置

問 野菜価格安定対策事業の対象となる野菜は、ナス、トマトだけか。

地域振興課長 今回、県の要綱が改正されたため、新たにナス、トマトが対象になった。その他、アスパラ等が対象。

産業厚生常任委員会視察の実施

当委員会に付託された議案、及び議件について12月14日に現地視察を行いました。

(視察箇所)

①ハウス団地

(門前地区・建設中) 入植予定の方は、町内の方で、キュウリ栽培に取り組む予定。



建設中のハウス団地

②トマトハウス

(八町北区)

地元農家の方が営農され、現在3年目。自動で水、肥料をやる等スマート農業に取組まれていた。

③「寄り合い所」



トマトハウス内

すいれん 施設立ち上げから25年。町の支援も受け、デイサービス、弁当の宅配、サロンなどに取り組んでおられる。



寄り合い所 すいれん

意見書

保育所等保育施設の職員配置基準改善を求める意見書

(全会一致で採択)

保育施設の配置基準をOECD先進国並みの配置基準に改善すること、保育施設・学童保育施設等職員の処遇を改善し、標準的な労働者の年収を確保するための予算措置すること等を求めた。

議長交際費の公表

議長が町議会を代表し、対外活動等のために支出した交際費を公表します。

(令和5年10月～12月分)

項目	件数	支出額
ご祝儀	1	10,000円
その他	1	2,000円
合計	2	12,000円

佐賀県特有の歴史的な古民家



上小田にある くど造り かやぶきの民家 30年に一度は屋根のふき替えが必要

2024年の幕開けです。今年も町民の皆様方に分かり易い情報を報告できるよう取り組んでまいります。



編集後記

《しめ縄の由来》

その昔、伊勢を旅していた須佐之男命（スサノオノミコト）が夕暮れに泊まるところがなく困っていたところ、蘇民将来という男が貧しいながらも一夜の宿を貸し、もてなしました。須佐之男命はこれに喜び、一宿の恩として『蘇民将来の子孫と書いて芽の輪を門口にかけておけば子孫代々病を免れる』と言いました。以来、蘇民家は疫病を免れ代々栄えしました。この言い伝えにあやかって、伊勢の人々は一年中、門口に飾るようになり、我が町でもこの風習を見かけるようになりました。

（土賀）

議会広報委員会

委員長	池田 和幸
副委員長	土淵 茂勝
	田村 康
	古賀 里美
	酒井 明子